

ベンチャーを支援するベテランの会設立総会 議事録

2001年4月25日事務局作成  
議事録署名人：久田仁  
河原春郎

日 時：2001年4月20日（金）18：30～21：00

場 所：東京全日空ホテル「アストラル」（東京都港区赤坂）

参加者：敬称略、あいうえお順

【正会員】井浦幸雄・日本エンジェルス・インベストメント社長  
大槻幹雄・富士通ビジネスシステムズ相談役  
河原春郎・東芝顧問兼リップルウッド・ジャパンシニアアドバイザー  
酒井朋久・サントリー取締役  
高尾吉郎・日興証券顧問  
高原慶一郎・ユニ・チャーム社長  
武原誠郎・イムカ社長  
西岡郁夫・モバイル・インターネットキャピタル社長  
久田仁・内田洋行会長  
藤田史郎・NTT データ相談役  
斑目力広・マルチグラフィックス社長  
村瀬通三・松下電器産業客員  
森稔・森ビル社長（森浩生常務が代理出席）  
八幡恵介・ザ・フューチャー・インターナショナル代表  
湯川昌朗・トヨタ自動車常勤顧問

【アドバイザー】アレン・マイナー・サンブリッジ社長

（以上、会員総数25名中16名が出席、1名代理出席含む＝森稔氏代理の森浩生氏）  
その他出席者：記念講演 米倉誠一郎・一ツ橋大学イノベーション研究センター教授

1．開会の辞……西岡氏

2．経過報告……西岡氏

設立趣旨及び設立発起段階からのこれまでの経緯を説明し、資料1（別に添付）に沿って現時点で設立趣旨に同意した会員の入会の意味確認を取る。

3．議長及び議事録署名人選出……西岡氏

議長の立候補、推薦がないので、準備委員の副代表である久田氏の推薦により、設立発起人である西岡氏が引き続き議長を務める。また、議事録署名人に久田氏が決まる。

4．第1号議案：会則について

会則案読み上げ……西岡氏 第1号議案（別に添付）の資料に沿って、会則案を西岡氏が読み上げる。

【質疑・応答】

1）八幡氏より、第10条第1項の「定款」とあるのは、会則の他の項目と統一すべきとの提案があり、第10条第1項の「定款」を「会則」と訂正する。

2）大槻氏より、第16条等に関して「以前、検討していた理事会方式は見送るのか」という確認があり、準備段階における代表・副代表の検討結果を踏まえた提案によって理事会方式を取りやめることを確認する。

3）井浦氏より、第12条に関し、「副会長の数を決めてしまわない方が、ゆくゆく規模

の拡大に伴って会則を変更することなく流動的に会の運営ができるのでは」という指摘があり、全会一致で「副会長は若干名」と訂正する。

4) 八幡氏より、同じく第 12 条に関し、「役員会がいわゆる執行役員会の性格を持つ以上、監事は責任重大ゆえに 1 名では少ないのではないか」との指摘があり、全会一致で「監事は 2 名」と訂正する。

5) 井浦氏より、第 20 条の総会の定足数を「通常は 2 分の 1 ではないか」という指摘があり、他の会員からの賛同を得て、委任を認めるのだから「定足数を 2 分の 1 とする」に訂正する。

6) 第 23 条第 2 項に関して、議事録署名人を 2 名設けることとなり、設立総会の議事録署名人として、久田氏加え河原氏を議事録署名人とする。

7) 八幡氏より、第 30 条に関し、「一般的に団体設立当初は会費がたまっていく一方だから、その財産をいかに使うべきか決めておくべき」との意見があった。他の会員からは「当面は人件費がかかりたまることはないが、予算案等の段階を経て収入・資産の使途を決める」ことで合意する。

#### 【採決】

挙手及び拍手によって、全会一致で原案と訂正を承認。

#### 5. 第 2 号議案：第 1 期役員選出について

立候補がないので、準備委員会の推薦により、会長を藤田氏、副会長を村井氏と久田氏の両名、事務局長を西岡氏、監事を河原氏とする準備委員会の人事案を発表。先に監事を 2 名としたため、もう 1 名の監事を、発足の初期段階から貢献してきた大槻氏に依頼する案を提案。

#### 【採決】

挙手及び拍手によって、全会一致で役員案を承認。

以下、会則に従い、総会の議長である会長の藤田氏が進行を務める。

#### 6. 第 3 号議案：NPO 化について

藤田氏の指名により、事務局長の西岡氏が第 3 号議案の資料(別に添付)に沿って NPO 化のメリット・デメリットについて説明。

#### 【質疑・応答】

1) 井浦氏より、「現行では煩雑な作業がデメリットになるが、将来的に NPO のメリットが増すならば、その際に考えては」との意見があった。

#### 【採決】

挙手及び拍手によって、全会一致で「当面は NPO 化を見送り、メリットが増えた時点で考慮する」ことで合意。

#### 7. 第 4 号議案：活動計画について

藤田氏の指名により、西岡氏が第 4 号議案資料 1、2(別に添付)に沿って、今後の活動計画を説明。

#### 【質疑・応答】

1) 大槻氏より、「定例会のベンチャーのプレゼンに関して、原則支援するのかどうか」との質問があった。西岡、藤田両氏より、「必ずしもそうではない。何らかの形のスクリーニングが必要になるので、事務局にてその仕組み等を検討する」との回答があった。事務局及び役員会における検討結果に関しては、定例会にて会員全員に報告することで合意。

- 2) マイナー氏より、「支援していくうえで、1度ベンチャー企業の定義についてフリーディスカッションを会として設けては」という提案があった。八幡氏、酒井氏、河原氏から「high potential、high growth」「市場規模の大きさ」等がキーワードとして挙がった。
- 3) 久田氏より、「定例会合をいずれ大阪で開催しよう」との意見があり、全会一致で合意。
- 4) 斑目氏より、「会としてベンチャーのプレゼンを聞き、支援するか否か決めていくうえで、守秘義務契約を結んだ方がいいのではないか」との意見があった。他の会員からは「ケースによるが、必要となれば会員と会が守秘義務契約を結び、会がベンチャーと守秘義務契約を結べばよいかもしれない」(西岡氏)、「まずはさしつかえない範囲内でプレゼンを聞き、必要となった段階で守秘義務契約を結んではどうか」(井浦氏)の意見が出た。当面は差し支えない範囲内でプレゼンしてもらうことで合意。

**【採決】**

挙手及び拍手によって、全会一致で意見を反映した原案を承認。

8. 記念講演：米倉誠一郎・一ツ橋大学教授

全議案の承認を経て、19:40 から設立総会の記念講演として米倉教授に講演頂く。日本におけるベンチャー支援体制の問題点等を米国と比較しながら解説いただき、「ベテランの会は個別のベンチャー支援にとどまらず、ベンチャー支援のシステムを日本で構築して欲しい」との応援のメッセージを頂いた。

8. 閉会の挨拶……藤田氏

「ベンチャーを評価する仕組みづくり、活性化した会の運営、ベテランの知恵をフルに生かしたベンチャー支援に取り組んでいきたい」と挨拶し、21:00 に閉会。

9. 事務局長より補足

会費を管理するための銀行口座を会の名義(=事務局長・西岡名)にて開設し次第、会員皆様にお知らせするので、会費をお納め下さい。

以上